

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債権…償却原価法(定額法) によっている。
- ②その他の有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①出版物…個別法による時価（売価）法によっている。
- ②貯蔵品…個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ①リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。
- ②ソフトウェア
定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による自己都合要支給額）に基づき、財団が負担すべき額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	750,582,237	23,164,185	40,000	773,706,422
小計	750,582,237	23,164,185	40,000	773,706,422
特定資産				
退職給付引当資産	39,518,360	1,639,370	8,260,700	32,897,030
運営資金引当資産	47,500,000	26,720	26,720	47,500,000
減価償却引当資産	4,582,149	0	0	4,582,149
基本財産準備資産	6,515,200	0	0	6,515,200
小計	98,115,709	1,666,090	8,287,420	91,494,379
合計	848,697,946	24,830,275	8,327,420	865,200,801

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	773,706,422	773,706,422	0	0
小計	773,706,422	773,706,422	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	32,897,030	0	0	32,897,030
運営資金引当資産	47,500,000	0	47,500,000	0
減価償却引当資産	4,582,149	0	4,582,149	0
基本財産準備資産	6,515,200	6,515,200	0	0
小計	91,494,379	6,515,200	52,082,149	32,897,030
合計	865,200,801	780,221,622	52,082,149	32,897,030

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期末増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
文化振興 事業補助金	姫路市	0	117,912,000	117,912,000	0	
国際交流 補助金	姫路市	0	38,056,220	38,056,220	0	
文化庁劇場・ 音楽堂等 活性化事業 助成金	独立行政法人 日本芸術文化 振興会	0	554,622	554,622	0	
外国人県民に 対する相談事業 経費負担金	兵庫県国際 交流協会	0	1,198,000	1,198,000	0	
合計		0	157,720,842	157,720,842	0	

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	39,518,360	1,639,370	8,260,700	0	32,897,030